

普及活動情勢報告（令和2年5月分）

高吾農業改良普及所

夏秋高糖度トマトの巡回指導



仁淀川町の夏秋高糖度トマト栽培農家4戸に対し、農業改良普及所では、3月9日からの定植開始から現地巡回を週1回の間隔で実施しています。

農業改良普及所では、生育状況に応じた灌水管理や土壌診断及び植物体内中硝酸イオン濃度測定による施肥指導を行い適正施肥への指導を図っています。

生産者からは「天候不順時の施肥管理はどうしたらいいのか」「かん水管理は丁度なのか」などの意見が交わされました。

夏秋高糖度トマトの出荷が5月下旬より始まります。

農業改良普及所では、今後も巡回指導を通し、安定生産できるよう支援していきます。

集落営農組織が活動開始



4月21日に佐川町の集落営農法人「トピアとかの」が水稻の育苗作業を開始しました。昨年10月に設立し、今年から本格的に活動を開始します。今年は約5haの飼料米栽培やJAとの契約による水稻受託作業を行う計画となっています。

農業改良普及所からは今後の飼料米栽培管理について指導を行いました。組合員からは、「斗賀野地区の農地をできるだけ荒らさないように活動していきたい」との意気込みが聞かれました。

農業改良普及所では、これからも役員会や巡回指導により、集落営農組織活動を支援していきます。

露地シシトウの勉強会を開催



5月15日にJA高知県斗賀野支所露地シシトウ生産部会が勉強会を開催し、4名の生産者が参加しました。

農業改良普及所からは、定植後の栽培管理や今年度の取り組み等について説明しました。

生産者からは、「手かん水はいつまでした方がいいのか」、「薬剤を効率よく効かせる方法を教えて欲しい」等の質問がありました。

農業改良普及所は、今後も露地シシトウの安定生産に向けて栽培管理技術等の指導を行っていきます。

雨よけ甘長トウガラシの目慣らし会を実施



5月8日に、JA高知県越知支所に雨よけ甘長トウガラシを出荷している生産者を対象に目慣らし会が開催され、6名が参加しました。

農業改良普及所からは、かん水管理や尻腐れ果対策等の基本栽培管理技術について説明しました。

生産者からは、「カルシウム剤散布はどれくらいの頻度ですれば良いのか」、「誘引栽培をしたことがないのでもう少し詳しく教えて欲しい」等の意見がありました。

農業改良普及所は、今後も甘長トウガラシの安定生産に向けて基本栽培管理技術等の指導を行っていきます。